

ウィズ通信

思い込み、していませんか？

6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。

内閣府男女共同参画局はキャッチフレーズを毎年募集しています。令和3年度は「自分を好きになって自分を信じて 創り上げた自由な発想が受け入れられる社会 みんなで築いていく 男女共同参画社会とは?!」をテーマに、15歳から20歳までのユース世代に呼びかけました。創り上げる未来をイメージして考えた作品は2,785点。その中から選ばれた作品を紹介します。

最優秀作品

女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ。

新井喜美夏さん（群馬県・20歳）

優秀作品

「いつか」生きやすい社会でなく「いま」生きやすい社会へ

高野友里さん（茨城県・18歳）

優秀作品

信じよう「自分」、認めよう「個性」

濱田玲織さん（鹿児島県・18歳）



“これからの未来”を築いていく世代が紡ぎ出す言葉は、わたしの、あなたの、
「無意識の偏見」に気づく言葉になるのではないのでしょうか。

無意識の偏見 とは？



無意識の偏見、無意識の思いこみ、無意識バイアスとも表現されます。最近では「アンコンシャス・バイアス」という言葉が多く使われています。この意識は、過去の経験や見聞きしたことから培われていくものです。ですから、そのものに善し悪しはありません。誰もが持ち、日常にあふれているものです。ですが、この意識に気づかずにいると、知らず知らずのうちに誰かを傷つけてしまったり、能力を発揮する機会を奪ったり、時に自分自身の可能性を閉ざすことにもなりかねません。

心当たりありませんか？ 思い込みしていませんか？ 性差別見えていますか？

男性は生活費を多く稼いで家族を養うべき。

女性は力が弱いから荷物運びなど力仕事はできない。

重要な仕事は女性には任せられない。

女性は仕事を持っていても介護や看護をするべき。

世界の中の日本は

世界経済フォーラム（World Economic Forum）は2021年3月31日、男女格差の大きさを国別に比較したジェンダーギャップ指数を発表しました。

日本は調査対象の156か国中120位で、前年から1つ順位を上げたとはいえG7（ジーセブン：Group of Seven の略、フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダの7つの主要な先進国のこと）では最低という結果でした。

これは「政治参画」での女性の数の少なさによるものです。国会議員や官僚に女性が少ない、首相にまだ女性がいない、また、一般企業の幹部や管理職に女性が少ないという結果から、政治、社会のいわゆる指導的地位、意思決定の場に女性が少なく、女性の意見が反映されにくいという性差別が見えます。

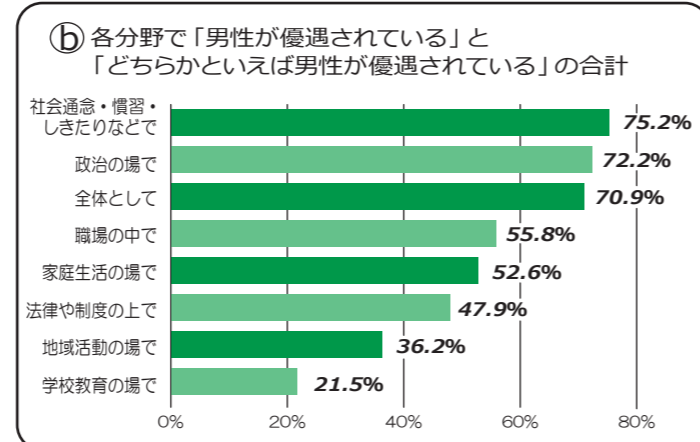
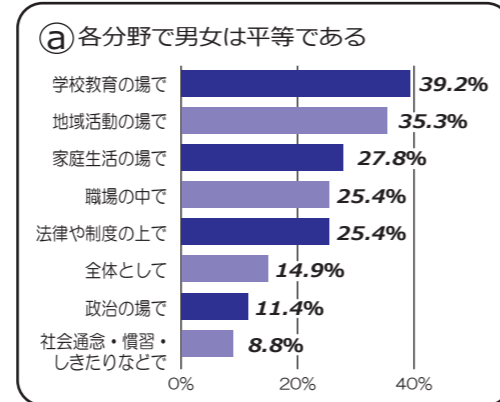
ジェンダーギャップ指数 2021 より 上位国及び主な国の順位

順位	前年順位	国名	値
1	1	アイスランド	0.892
2	3	フィンランド	0.861
3	2	ノルウェー	0.849
4	6	ニュージーランド	0.840
5	4	スウェーデン	0.823
6	12	ナミビア	0.809
7	9	ルワンダ	0.805
8	33	リトアニア	0.804
9	7	アイルランド	0.800
10	18	スイス	0.798
11	10	ドイツ	0.796
16	15	フランス	0.784
23	21	イギリス	0.775
24	19	カナダ	0.772
30	53	アメリカ	0.763
63	76	イタリア	0.721
81	81	ロシア	0.708
102	108	韓国	0.687
107	106	中国	0.682
119	118	アンゴラ	0.657
120	121	日本	0.656
121	111	シエラレオネ	0.655

日本は、特に「経済」及び「政治」における順位が低くなっており「経済」の順位は156か国中117位（前回は115位）「政治」の順位は156か国中147位（前回は144位）となっています。政治分野では、スコアは上がっているものの、順位は下がっています。これは、各国がジェンダー平等に向けた努力を加速している中で、日本が遅れを取っていることを示しています。（参考：内閣府「共同参画」2021年5月号）

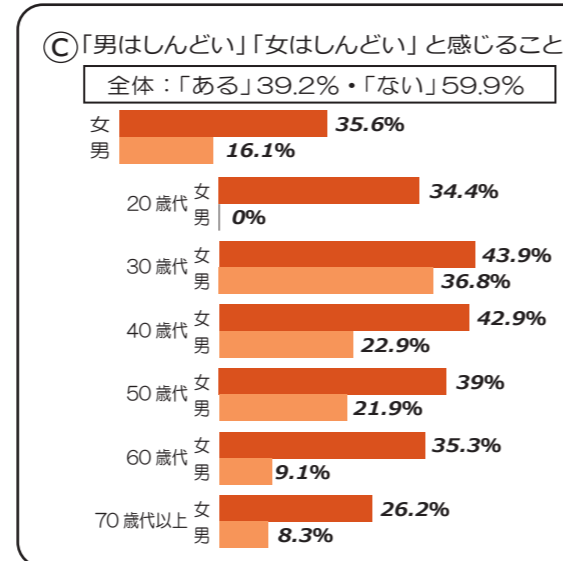
摂津市では、住民基本台帳から無作為抽出した20歳以上の男女2,000人を対象に、令和2年8月～9月に郵送による意識調査を実施しました。（有効回収数：N=464）

下記のグラフ①②③は、調査結果から抜粋した内容です。



男女は平等？ —— 男性が優遇されている

各分野において男女は平等になっていると思うかをたずねたところ「平等である」は「学校教育の場で」が最も多く、各分野の中で唯一『男性優遇』と思う人の割合を上回りました。一方『男性優遇』は「社会通念・慣習・しきたりなどで」が最も多く「政治の場で」「全体として」の順となっています。



しんどさ、つらさを感じる？

—— 女性が多く感じている

「男はしんどい、つらい」「女はしんどい、つらい」と感じたことについてたずねたところ「ない」が約6割、「ある」が約4割。性別年代にみると「ある」は女性の3割強、男性の2割弱、男女ともに30歳代が最も高く、年代が上がるにつれて低くなっています。

ウィズせつでは、男女共同参画社会の実現をめざして、出会う・気づく・つながる・行動するための各講座を、ウィズプランに基づいて開催しています。



ウィズプランは、Ⅰ男女共同参画社会へ向けての意識形成、Ⅱ男女共同参画社会へ向けての環境整備、Ⅲ女性の人権尊重と女性に対するあらゆる暴力の根絶、の3つを基本的方向に据え、各課題を設けて構成しています。

ウィズプランをもとに、令和2年度の取組実績を一部ご紹介します。

パープルリボンデコレーション 実施：令和2年11月1日（日）～11月26日（木）

11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動期間」にあわせて、女性に対するあらゆる暴力の根絶を広く市民に呼びかけるために、「ひとりで悩まず、まずは相談してください」とのメッセージを発信することを目的に実施。

<基本課題>

- I-2-(2) 男女平等意識に基づき主体的な生き方を選択できるような教育・学習機会の充実
- II-1-(2) 地域活動・社会活動における男女共同参画の促進
- III-2-(1) 暴力防止に向けた教育・啓発の推進



価値観は多様化しています。

あなたもわたしも心地よく過ごすために、自分のことは自分で選ぶために。わたしたちにできることは、思い込みに「気づくこと」「意識すること」。男女共同参画社会の実現をめざし性差別を解消するために、ウィズせつの講座で「わたし」を主体にして実践することからはじめませんか。

家族でもっと効率よく！一緒にラク家事する方法 みんなのための家事シェア講座 実施：令和3年1月30日（土）

固定的な性別役割分担意識による「家事は女性がするもの」という考え方にとらわれず、パートナー同士、家族全員が主体的に家事の担い手になり、ともに仕事、家庭、地域活動を両立する生活の在り方を学ぶことを目的に実施。

<基本課題>

- I-2-(2) 男女平等意識に基づき主体的な生き方を選択できるような教育・学習機会の充実
- II-2-(3) ワーク・ライフ・バランス（労働と家庭・地域生活との調和）の実現が可能な環境の整備



わたしたちができること

価値観を
更新しよう。



男女共同参画セミナー/ウィズせつつカレッジ2021入学記念講演

あふれでたのはやさしさだった

奈良少年刑務所 心を開いた詩の教室

6月26日(土)午後2時～4時

(開場1時30分)

コミュニティプラザ3階

コンベンションホール

講師の寮さんは奈良少年刑務所における「社会性涵養プログラム」の一環として長年に渡り、詩の授業を行ってきました。受刑者の少年たちは加害者であると同時に被害者でもありました。心を閉ざしていた少年たちが詩の教室で自分を表現し、それを受け止めてもらうことで、彼らの様子に劇的な変化が起こりました。固く閉ざした心の扉が開いたときにあふれでたのは…。



りょう みちこ
寮 美千子
(作家・詩人)

定員：60人 手話通訳あり
一時保育は1歳～就学前児(要予約、先着順)

参加費
一時保育
無料



あふれでたのはやさしさだった
西日本出版社 2018年12月発行

情報室で所蔵
しています



世界はもっと美しくなる
ロクリン社 2016年10月発行

ウィズせつつカレッジ2021

誰もが生きやすい社会をめざして この街であなたの花を咲かせよう

～ 連続講座 ～

世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ指数2021で日本は世界156か国中120位でした。日本の女性の現状はどうなっているのか、一人ひとりが尊重される社会をどのようにつくるかを学びます。

2 講目「ジェンダーギャップ指数から考える日本の現状」は7月15日(木)10時です。

3 講目以降「メディアから考えるジェンダー」「コロナ禍で広がる女性と子どもの貧困」「心にしみる大人の絵本講座」など、充実した内容が続きます。男女共同参画について、様々な角度から一緒に学びましょう。

男女共同参画週間パネル展

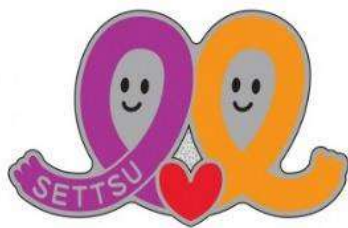
日時：6月22日(火)～6月29日(火)
(最終日は午後3時まで)

場所：コミュニティプラザ エントランス



男女共同参画週間(6月23日～6月29日)にあたり啓発展示を開催します。

摂津市オリジナル パープル&オレンジ ダブルリボンバッジの販売



デザイン案：男女共同参画推進団体
「ハートtoハンドメイドの会」

「パープル&オレンジダブルリボンバッジ」は女性に対するあらゆる暴力の根絶のシンボルであるパープルリボンと児童虐待防止のシンボルであるオレンジリボンを組み合わせた、摂津市オリジナルの啓発バッジです。

摂津市は地図で見るとハート型であり、人と人とのつながりを大切にする温かいまちで、手と手を携えてDV及び虐待の防止に取り組むというメッセージを込めています。

種類：①ピン式 ②マグネット式 販売価格：各300円

販売場所：①摂津市市長公室人権女性政策課(市役所4階)

②摂津市立男女共同参画センター・ウィズせつつ

編集・発行

摂津市立男女共同参画センター ウィズせつつ

2021年6月発行

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 摂津市立コミュニティプラザ1階

TEL：06-4860-7112

FAX：06-4860-7113

URL：http://www.with-settsu.jp

e-mail：danjyo@with-settsu.jp

ウィズせつつは、性別に関わらず、家庭、学校、職場、地域などで、一人ひとりが個人として尊重され、対等な関係を築き、共に責任を担う男女共同参画社会づくりを推進するための拠点施設です。性別による固定的な意識を見直し、女性の自立と社会参画を推進します。また、市民の活動やネットワークづくりを応援します。



●開館時間

月・木・金・土・日曜日 午前9時30分～午後5時
火曜日のみ 午前9時30分～午後9時

●休館日 水曜日・祝日・年末年始